

岡山市書写教育研究発表会要項

1 研究主題

主体的に学び、基礎・基本を身につける子どもの育成

——— 自らめあてを持ち、書く楽しさや上達の喜びを味わう書写学習 ———

2 期 日 平成21年10月29日(木)

3 場 所 岡山市立平島小学校
公開授業……………4年A組教室
研究協議……………図書館

4 日 程

	13:40	14:10	14:55	15:15	15:20	16:20	16:
30	受付	公開授業 4年A組教室	移動	開会 行事	研究協議・指導講評 (図書館)	閉会 行事	

5 公開授業

第4学年

題材 「すな」

指導者 4年A組担任 大森加世子教諭

6 全 体 会

- | | | | |
|-----|-----------|-------------------------|-----------------|
| (1) | 開会あいさつ | 岡山市習字教育研究会
岡山市立妹尾小学校 | 会 長
白神 順治 校長 |
| (2) | 運 営 | 岡山市立芳泉小学校 | 吉田 健 教諭 |
| (3) | 研究協議 | | |
| | ・研究協議(司会) | 岡山市立可知小学校 | 岡崎 昌利 教諭 |
| | ・記 録 | 岡山市立旭東中学校 | 森 和雄 教諭 |
| | ・授業反省 | 岡山市立平島小学校 | 大森加世子 教諭 |
| | ・研究発表 | 岡山市立平島小学校 | 石津 裕子 教諭 |
| (4) | 指導講評 | 岡山市立平福小学校 | 平木 雅人 教諭 |
| (5) | 閉会あいさつ | 岡山市立平島小学校 | 野上 和信 校長 |

1 研究主題

主体的に学び、基礎・基本を身につける子どもの育成
～自らめあてをもち、書く楽しさや上達の喜びを味わう書写学習～

2 研究主題設定の理由

本校の子どもは、明るく素直で、言われたことが納得できると最後までがんばることができる。反面、相手を思いやる態度や思考力・表現力に課題をもつ子どもが多い。そこで、本年度は、学校教育目標を「豊かな心をもち、自ら考えて、たくましく生きる児童の育成」とし、指導の重点を『心の通う学級づくり』と『楽しく進んで取り組める授業づくり』として学校教育をすすめてきている。

校内研究では、昨年度は「一人ひとりの学びと育ちを保障する授業の創造」～特別支援教育の手だてを活かした授業づくり～を研究主題にし、子ども一人ひとりの特性に応じた手だてを工夫した授業づくりを試みた。その結果、板書や掲示板等で視覚に訴える手だてをとり、見通しをもって活動させると、心が安定してがんばれることが分かってきた。このことは、特別な支援を必要とする子どもはもちろん、通常学級の子どもも同じであり、どの子どもにも学びを保障する授業づくりに生かすことができた。

しかし、子ども同士の人間関係の行き違いから、教師の想定を超える子どもの反応に対応することができず、後追いの指導になってしまうこともあった。そこでは、子どもを制止するとか、叱るといったかかわり方になり、子どもにとって「どうせ自分なんか…」と、自己評価を下げる結果になりがちであった。特別支援の手だてを活用して子どもへのかかわりを工夫しようとしていたのは、元はといえば、子どもが「自分はがんばることができる。」「やればできる。」という有能感や自己肯定感をもてるようにしようということがねらいであった。子ども一人ひとりが有能感や自己肯定感をもつことで、子ども同士の人間関係の行き違いも少なくなっていくと予想される。これからも子ども理解を一層進め、指導方法を工夫していくことが必要である。

本年度は、岡山市小学校教育研究会書写部会より研究指定を受け、授業を公開して研究の成果を発表することになった。書写の学習は、一人ひとりの能力差があり、まわりの友だちと比べて自己評価することになりがちだが、自分の課題を探ってめあてをもち、自分なりの伸びを確かめることができれば、有能感や自己肯定感をもたせやすい学習である。

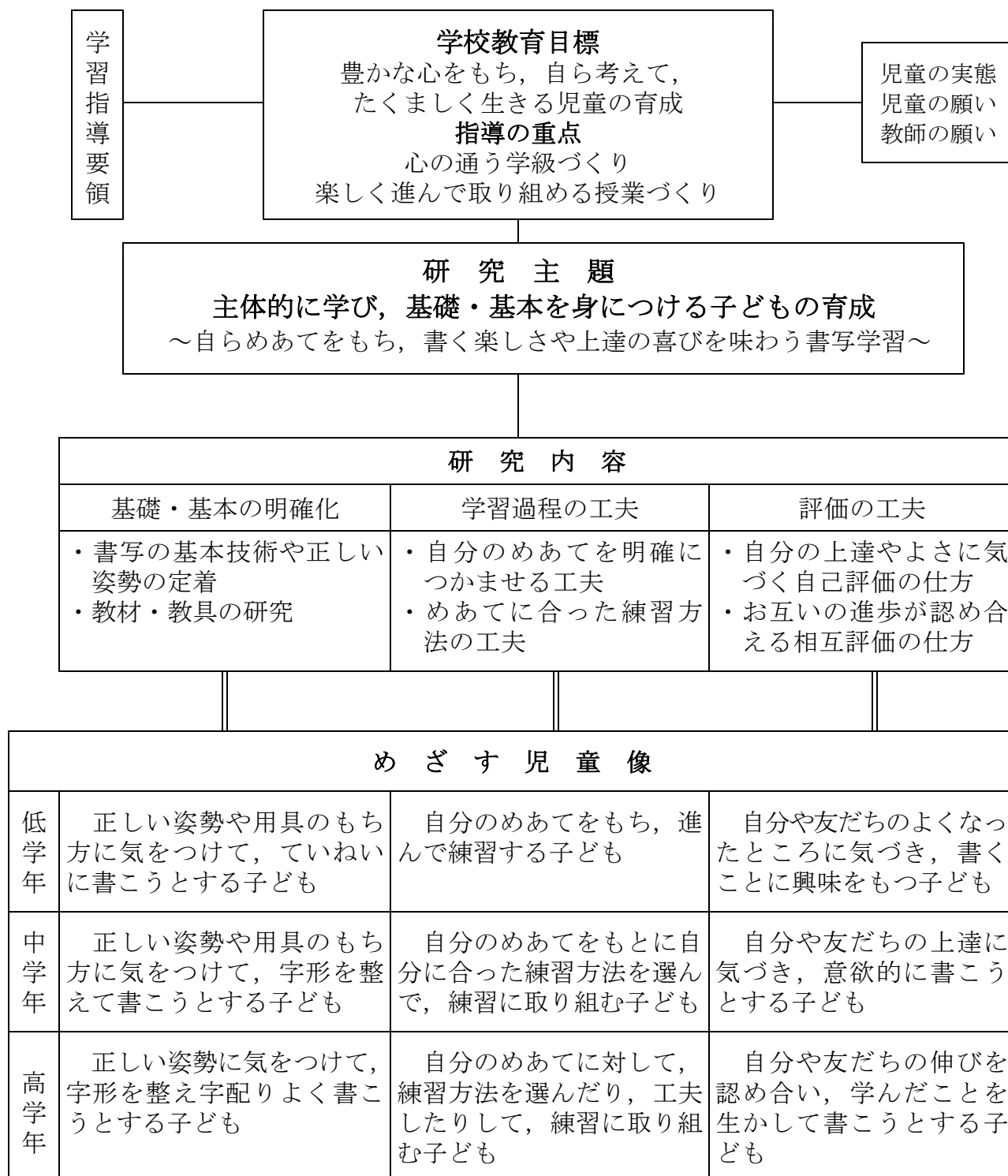
そこで、本年度の研究の中心に「書写学習」をおき、「書写」の学習の進め方や自己評価や相互評価のさせ方を研究することで、子ども一人ひとりが「できる」喜びを味わうことができるようにしたいと考えている。さらに、書写学習を通して学んだことを他の教科・領域にも生かしていくようにしたいと考え、上記の研究主題を設定した。

3 研究構想

本校は、平成20年度岡山県書写教育研究会を開催した箕島小学校の実践をもとに、平成21年度の岡山市書写教育研究会の研究をしている。

研究主題「自らめあてをもち、書く楽しさや上達の喜びを味わう書写学習」にせまるために、以下の3つの視点を中心に研究を進めた。

- (1) 基礎・基本の明確化
- (2) 自分のめあてを追求し、書く楽しさを体験できる学習過程の工夫
- (3) 上達の喜びを味わう評価の工夫



4 研究内容

(1) 基礎・基本の明確化

書写の基礎・基本を重視し、指導内容を年間計画の中に位置付け、習得させていくことを共通理解し実践することとした。正しい姿勢や執筆が身につくよう、姿勢図や執筆図を掲示し、児童が常に意識できるように学習環境を整えた。また、入門期である1年生から基礎・基本が身につくような教材・教具の研究を進めていくこととした。

①書写の基本技術や正しい姿勢の定着

○姿勢図・執筆図の掲示

正しい姿勢を常に意識づけるため、各教室に姿勢図を掲示する。1・2年生は鉛筆のもち方図、3～6年は筆のもち方図も掲示する。

○合い言葉

低学年を中心に正しい姿勢、正しい鉛筆のもち方を意識させるために、姿勢についての合い言葉を唱えさせる。また学習している文字のポイントを捉えやすくするために、「ぴたっ」「しゅうっ」「すらり」といった言葉を活用する。

○正しい書写用具の使い方

学年の始めに、正しい姿勢と用具の正しいもち方について指導する。3～6年は毛筆用具の種類・名称・配置・取り扱い方について指導する。特に毛筆入門期の3年生では、掲示物やビデオを用いて繰り返し指導する。

②教材・教具の研究

○作品ばさみ



○筆洗い容器



○始筆時計

始筆の穂先の向きを理解したり、始筆の筆使いを身に付けたりするために、掲示物や練習用紙として活用する。



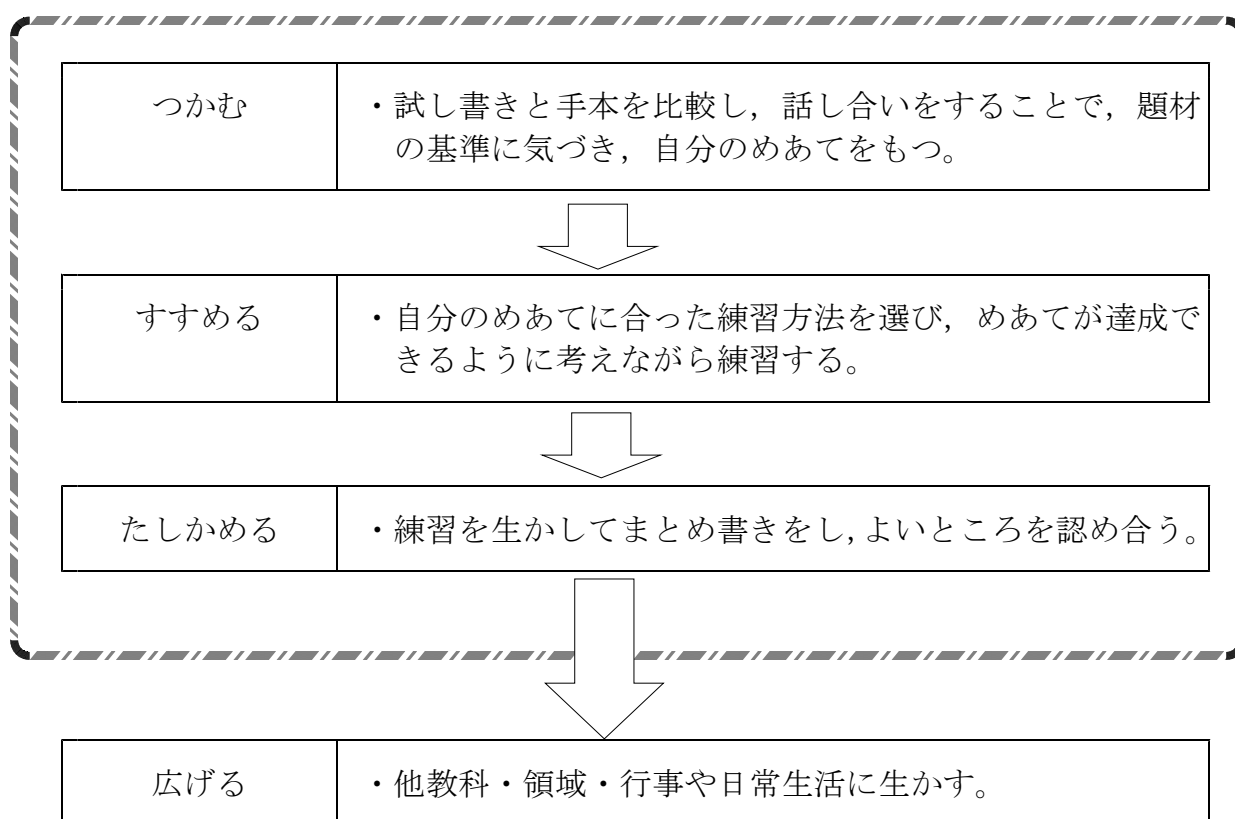
○基準となる筆使いの指導

題材の中には、筆使いにポイントのある字がある。これは手本を見ただけではわからない。これまでもパソコンやビデオを採り入れたデジタルコンテンツを利用した指導が行われているが、本校でもビデオを撮り、ゆっくりとした動きで基準となる筆使いの指導をすることにした。

(2) 自分のめあてを追求し、書く楽しさを体験できる学習過程の工夫

形式的に手本の文字を見て書く授業から、自らめあてをもち、主体的に字形を整えて書こうとする授業にすることが必要である。

これまでの実践に習い、児童が学習の流れを理解し、見通しをもって取り組むことができるように、学習過程を、「つかむ→すすめる→確かめる→広げる」とパターン化することにした。



① 自分のめあてを明確にし、意識させる工夫

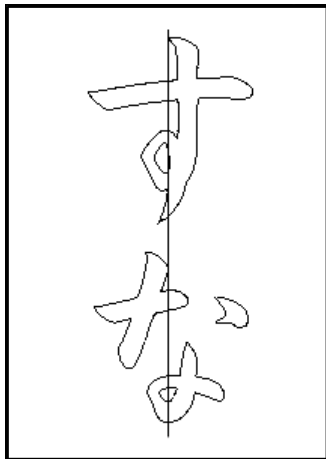
- 手本を見ずに書いた試し書きと手本を比べ、直すところ、よいところを見つける。
- 文字の基準を理解し、題材のねらいに合っためあてを明確にしていく。
- 自分のめあてを常に意識するために、手本にするしを付ける。

② めあてに合った練習方法の工夫

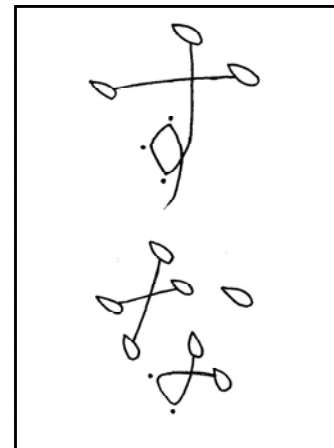
○練習用紙の工夫

教師がいろいろな練習用紙を用意し，児童が自分のめあてに合った練習用紙を選んで練習できるようにする。学年によっては，教室の空きスペースが狭くなるため，半紙，練習用紙，部分練習用紙などをまとめてもたせておくようにして，練習に集中できるようにする。

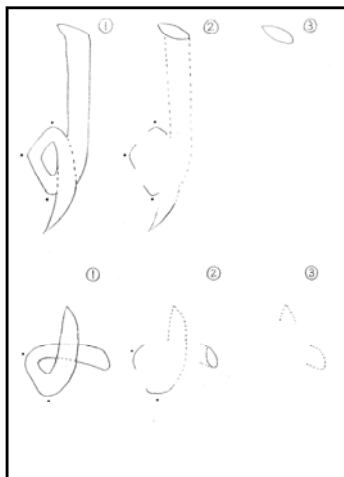
かご字



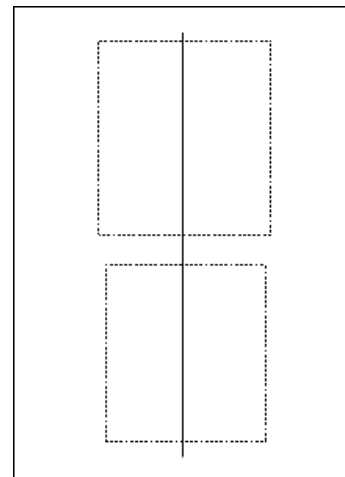
ほね字



部分練習シート



外形シート



○分解文字や点画ピースを使って字形や文字の組み立てを考える場の設定

点画の接し方や文字の組み立て方を視覚的に捉えさせるため，分解文字ピースを用いる。

○水書用紙の活用

半紙と同じ大きさで，乾けば何度でも練習ができる。児童が緊張せずに文字を書くことができるため，部分練習などで活用する。

(3) 上達の喜びを味わう評価の工夫

自分の上達を実感できたり、お互いの伸びが認め合えたりする評価になるよう自己評価や相互評価を授業の中に取り入れることとした。

① 自分の上達やよさに気づく自己評価の仕方

○授業中でのふり返り活動

試し書きとまとめ書きを比べることで、自分の作品の伸びを見つけさせる。特に上達の著しい児童の作品は全員に見せ、上達を認め合うことを通じ、達成感をもたせ、次への意欲につないでいく。

○シールの活用

低学年では、まとめ書きの文字を自己評価し、上達した文字にシールを貼ることで、上達した喜びが味わえるようにするとともに、次のめあてをつかみやすくする。

○技能の上達を正しく評価する力の育成

自分のめあてを振り返り、書写用語を用いて正しい評価ができるように、机間指導での教師の助言や、全体場で試し書きとまとめ書きを比べる活動を取り入れる。

② お互いの上達が認め合える相互評価の仕方

書写学習の最後には、必ず隣同士、またはグループでお互いの作品を見合い、よいところを見つけて言葉のプレゼントをさせる。自分の見方だけでなく、友だちの見方を知ることによって、達成感を味わえるようにする。

平成21年度
岡山市書写教育研究会



平成21年10月29日（木）
岡山市立平島小学校